

シニアプラザ事業の実施報告について

平成 26 年度より重点施策として 2 か年実施した『シニアプラザ事業』（シニアと大学生の世代間交流）について下記のとおり報告する。

1 事業概要

高齢者の生きがいの創出と豊かな地域生活の実現を図るため、跡見学園女子大学（以下「大学」という。）及び文京区高齢者クラブ連合会（以下「文高連」という。）外区内関係団体との協働により、大学が有する施設（跡見ギャラリーほか大学内施設）等において、区及び大学の特色を生かした各種事業を実施した。

2 実施交流イベント及び参加者数

| | | |
|---------------|------|-------------------------|
| 文化・教養に関する交流 | 15 回 | 参加者数 558 名（うち高齢者 335 名） |
| 健康・介護予防に関する交流 | 5 回 | 参加者数 411 名（うち高齢者 177 名） |
| その他講演会等 | 13 回 | 参加者数 800 名（うち高齢者 572 名） |

※ 詳細別紙参照

3 実施方法

(1) 学生の企画運営を軸に、文高連外区内関係団体等の協力を得て実施

各イベントは大学のゼミ単位で立ち上げ、指導教官の管理指導のもと極力学生主体でイベントの設計から運営を行う形を原則とした。区は全体の進行管理、庁内関連部署および大学事務局・各ゼミとの連携と調整、参加者の募集、学生の活動環境の整備及び助言指導、イベント時の安全管理、マスコミ対応等を行った。

事業の実施にあたっては文高連の協力を得て、高齢者が学生の活動を支援する機会をつくりつつ、その後の高齢者と学生の自然な交流に発展するよう配慮した。さらに、高齢者あんしん相談センター、NPO 団体、社会福祉法人等とのコラボレーションも図り、これらの団体による様々な協力と助言も得つつ進めた。

(2) 東京都補助事業の先駆的事业として実施

本事業は、平成 26 年度および平成 27 年度高齢社会対策区市町村包括補助事業の先駆的事业として認められ、事業費は都の 10/10 の補助を受けて実施した。

また、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの「社会参加と地域保健研究チーム」の研究員が複数のイベントに企画段階から参加し、助言、指導、評価をいただいた。

4 成果と課題

<成果>

(1)参加者アンケート調査では 84.8%が満足

アンケート調査を実施したものでは、84.8%が満足（普通を含めると 97.0%）との回答があり、イベント参加者の満足度は高かった。学生が高齢者をもてなす進行の中で、高齢者から学生が教わる場面も多くみられ、期待通りの活発な交流が図れた。参加された方からは継続的な実施を求める声を多くいただいた。

(2)マスコミ等を通じ本区の高齢者の活動を発信

本事業は、大学と連携したプレス活動を行った結果、マスコミにも度々取り上げられ、本区の高齢者の活動ぶりを発信することにつながった。

- 平成 26 年 4 月 18 日 読売新聞『高齢者と大学生文京で交流事業』
- 平成 26 年 4 月 22 日 都政新報『高齢者の生きがい大学と協働で実施』
- 平成 26 年 8 月 10 日 読売新聞（東京ホットぷれいす）『浴衣美人先達に学ぶ』
- 平成 26 年 8 月 26 日 読売新聞英字版『From one generation of ‘yukata beauties’ to another』
- 平成 26 年 9 月 13 日 毎日新聞（街活）『学生育む地域連携』
- 平成 26 年 9 月 24 日 東京新聞（メトロポリタン）『地域魅力世代超え紹介』
- 平成 26 年 10 月 1 日 東京新聞『世代つなぐ介護予防体操』
- 平成 27 年 11 月 23 日 東京新聞『高齢者と楽しく食事』
- 平成 27 年 12 月 1 日 読売新聞『若者と「共食」高齢者生き生き』

<課題>

(3)短期間での学生主体の企画運営に課題

参加満足度に比べ集客力が劣る結果となり、一般区民の参加募集にあたり『学生との交流』だけでは他の事業との差別化が難しかった点が課題である。個々の事業コンテンツを磨き訴求力を高めていくには、毎年入れ替わる学生に対し、主体性を尊重し成長を促しながら、区の事業を実施するうえで短期間に一定以上の質を担保する必要があり、協働実施における互いのバランス感覚が求められる。

(4)ステークホルダー間で輻輳する情報等の管理や意思の疎通に留意が必要

庁内で関連する部署が多岐に渡り、大学側も事務局・指導教官・学生では立場も関わり方も異なるうえ、ゼミごとの違いも大きい。高齢者クラブからは、世代間交流を体感しシニアの力を発揮する機会になった一方、特定の大学のみとのイベントが続いたことへの疑問の声もあった。輻輳する情報や進捗の管理、意思の疎通、気運を高めながら他方では過熱する期待の整理をするなど、事業の実施には区側・大学側に要となる人材が必要であり、調整窓口として情報を一元化していかなければならない。

5 事業終了後の展開（平成 28 年度事業）

本事業で培った学生と高齢者との交流のスキームを継続するため、継続の声が多かったものを中心に事業内容をブラッシュアップさせたいと継続実施する。

- (1) 区の事業化 『健康まち歩き』
- (2) 指定管理者による自主事業への移行 『食事会』
- (3) 高齢者クラブとの交流
いきいきシニアの集いにおけるボランティア、書道交流会、朝顔ほおずき市での学生への浴衣の着付け、文高連ホームページへの寄稿など
- (4) その他 『シニアカフェ』（心理学の教授・学生を中心に交流を継続）

シニアプラザ事業実績

| NO | 事業内容 | 実施日 | 会場 | 参加者 | | | | | 参加者計 | 備考 |
|-------|-------------------------|------------------------|----------------------|-------|-----|-----|-----|------|-------|--------------------------------------|
| | | | | 高齢者 | | 大学 | | 区関係者 | | |
| | | | | 文高連 | その他 | 学生 | 職員等 | | | |
| 1 | オープングセシモニ- 輪投げ交流会 | H26.4.26(土)PM | 大学体育館 | 62 | / | 42 | 35 | 14 | 153 | オープングセシモニ-には区長、跡見学園女子大学学長ご出席 |
| 2 | 初めてのパソコン講座 | H26.6.3(火)~ 5(木)PM | ギャラリー会議室 | / | 41 | 10 | 3 | 7 | 61 | ※一般区民対象 ※3ヶ日間の延べ人数 |
| 3 | シニアカフェ | H26.6.7(土) PM | さくらルーム | 16 | / | 7 | 1 | 4 | 28 | |
| 4 | 認知症講演会 | H26.7.5(土) PM | プロッサムホール | 79 | 150 | 5 | 17 | 45 | 296 | ※区関係者に議員4名含む ※その他に一般参加者も含む |
| 5 | 浴衣着付け教室 | H26.7.19(土)AM | ギャラリー会議室 | 8 | / | 16 | 2 | 5 | 31 | 着付け後、ほおずき・朝顔市へ |
| 6 | シニアカフェ | H26.7.19(土)PM | さくらルーム | 12 | / | 6 | 3 | 3 | 24 | |
| 7 | 実習生受け入れ① | H26.9.1(月)~12(金) | 高齢福祉課・高齢者 クラブ活動室他 | / | / | 2 | / | / | 2 | |
| 8 | 実習生受け入れ② | H26.9.15(月)~30(火) | 高齢福祉課・高齢者 クラブ活動室他 | / | / | 2 | / | / | 2 | |
| 9 | 認知症サポーター養成 講座 | H26.9.4(水)PM | 跡見学園女子大学 | / | / | 16 | / | 2 | 18 | |
| 10 | 役員会 (B-グル車内ビ デオ上映会他) | H26.9.10(水)PM | 跡見学園女子大学 | 32 | / | 17 | 2 | 6 | 57 | |
| 11 | 街あるきプレ | H26.9.27(土) AM | 跡見学園女子大学 他 | 31 | / | 27 | 3 | 8 | 69 | ※区関係には、東京都健康長寿医療セ ンター研究者2名を含む |
| 12 | 街あるき (本番) | H26.11.8(土)PM | 跡見学園女子大学 他 | 8 | 25 | 27 | 3 | 12 | 75 | ※区関係には、講師2名、看護師1 名、健康長寿医療センター2名含む |
| 13 | シニアカフェ | H26.11.22(土)PM | さくらルーム | 13 | / | 5 | 2 | 1 | 21 | |
| 14 | 書道教室 | H26.11.29(土)・ 30(日) | シルバーセン ター | 41 | 32 | 4 | / | / | 77 | |
| 15 | いきいきシニアの集い ボランティア | H26.11.29(土)・ 30(日) | シルバーセンター他 | / | / | 4 | / | / | 4 | |
| 16 | シニアカフェ | H26.12.20(土) | さくらルーム | 0 | 0 | 4 | 1 | / | 5 | |
| 17 | 高齢者居場所づくり | H27.1.10(土) | 跡見学園女子大学 | 21 | 0 | 9 | / | 20 | 50 | 区関係には大塚包括含む |
| 18 | 教養講演会 | H27.1.20(水) | シビック小ホール | 290 | 0 | 8 | 3 | / | 301 | |
| 19 | シニアカフェ | H27.7.4(土)PM | 目白台交流館 | 17 | 5 | 8 | 3 | 5 | 38 | |
| 20 | 認知症サポーター養成 講座 | H27.7.7(火)AM | 跡見学園女子大学 | / | / | 27 | 1 | 3 | 31 | 講師：高齢者あんしん相談セ ンター職員 |
| 21 | 浴衣着付け教室 | H27.7.18(土) AM | 磯川地域活動センター | 7 | / | 8 | 3 | 6 | 24 | 着付け後、ほおずき・朝顔市へ |
| 22 | 実習生受け入れ① | H27.9.1(火)~11(金) | 高齢福祉課・高齢者 クラブ活動室他 | / | / | 3 | / | / | 3 | |
| 23 | 実習生受け入れ② | H27.9.14(月)~30(水) | 高齢福祉課・高齢者 クラブ活動室他 | / | / | 2 | / | / | 2 | |
| 24 | 認知症サポーター養成 講座 | H27.9.3(木)PM | 跡見学園女子大学 | / | / | 18 | / | 2 | 20 | 講師：あんしん相談センター 職員 |
| 25 | 健康まち歩きプレ大会 | H27.9.29(火)AM | シルバーセンター会議室B他 | 20 | / | 16 | / | 6 | 42 | |
| 26 | 食事会① | H27.10.21(水) | 福祉センター江戸川橋 | 12 | 0 | 16 | 4 | 5 | 37 | 都健康長寿医療センター職員2 名 |
| 27 | 健康まち歩き本大会 | H27.11.7(土)PM | シルバーホール他 | 8 | 23 | 27 | 4 | 10 | 72 | 講師2名、看護師1名 |
| 28 | 食事会② | H27.11.18(水) | 福祉センター江戸川橋 | 12 | / | 17 | 4 | 6 | 39 | 都健康長寿医療センター1名、読売新 聞記者・東京新聞記者各1名 |
| 29 | いきいきシニアの集い ボランティア | H27.11.22(日)~24(火) | シルバーセンター他 | / | / | 11 | / | 3 | 14 | |
| 30 | 書道交流会 | H27.11.22(日)・23(月) | シルバーセンター | 9 | 9 | 5 | / | 3 | 26 | |
| 31 | タブレット体験会 | H27.11.22(日)~24(火) | シルバーセンター | 26 | 25 | 3 | / | 7 | 61 | |
| 32 | シニアカフェ | H27.12.5(土)PM | 目白台交流館 | 16 | 4 | 6 | 2 | 5 | 33 | |
| 33 | 食事会③&クリスマス 会 | H27.12.21(月) | 福祉センター江戸川橋 | 11 | 19 | 14 | 3 | 6 | 53 | |
| 参加者合計 | | | | 751 | 333 | 392 | 99 | 194 | 1,769 | |
| | | | | 1,084 | | 491 | | | | |